

資料 1

総会及び講演会の開催方法案

開催方法	開催概要	メリット	デメリット
オンラインと 対面との併用開催 (ハイブリッド)	会場を設営し、現地参加を可能とするとともに、会場への参加ができない方へは、会場の状況をオンラインで配信する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 対面とオンラインのメリットを両方兼ね備える。 ● 対面で参加したい人も、オンラインがいい人も双方が参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 配信の準備に機材と技術が要る。 ● 対面とオンラインの人数の把握（予想）が難しい。
オンライン開催	会場を設営せず、配信拠点からオンラインでの配信のみを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 出かける必要がない。 ● 交通費がかからない。 ● 遠方からも参加できる。 ● 2年間の開催実績がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加したくてもできない（オンライン環境がない・ログインできない等）人がいる。 ● 発言者以外カメラOFFなので、寂しい感じがする。 ● 配信の準備に機材と技術が要る。
対面開催	会場を設営し、現地に集まった人だけが参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者が同じ空間、同じ場所にいるため、懐かしい気持ちを共有することができる。 ● 総会の議事も講演会の演者も、言葉で伝わりにくいことは、身振り手振りを交えて伝えたりすることも簡単にできる。 ● 同じ空間にいるので、聴衆の細かな表情や感情の変化を感じ取りやすく、反応がリアルに伝わってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● わざわざ出向かなければならない。 ● 多少なりともコロナのリスクがある。 ● 参加しない人は、講演会を聞くことができない。

※ 会食を伴う懇親会の開催については、以下の状況を踏まえ来年度の総会では実施を見送ることとしたい。

- 従来のようなバイキング形式での開催が困難なこと。
- 会食内容を弁当形式としたとしても、従来の参加費（7,000円程度）での実施は困難であり、最低でも1万円以上の会費徴収が必要。
- 自由な歓談は困難であり、懇親会の主たる目的である会員同士の交流を深めることが難しいこと。
- 参加者の事前把握が必須事項であり、従来のような飛び込み参加への対応ができないこと。
- 参加者が想定より少数であった場合、赤字が見込まれること。